

重要な注意:

1. 注意: 過熱やその他の機器への損傷を防ぐため、出力側にコンセント等の受け口をつけて器具を配線しないでください。
2. 該当する国または地域の電気関連法規すべてに従って取付けを行ってください。
3. 電子スイッチまたは専用子機スイッチを塗装しないでください。
4. 100V~複数箇所回路: 単一回路1つにつき、電子スイッチは1個のみ取り付けしてください。ただし、専用子機スイッチ (HD-RS-JA) は最大9個まで接続することができます。
5. 総負荷が負荷定格チャートを超える場合は、使用しないでください。
6. 総負荷が25Wを下回る場合は、使用しないでください。
7. ファンと電子スイッチ付きの照明を組み合わせるとコントロールする場合、総負荷が汎用ファンの定格を超えないようにし、100V~で使用してください。負荷定格チャートを参照してください。
8. 動作時許容温度 0°C から 40°C。
9. 動作時に電子スイッチを触ると暖かく感じますが、正常な動作状態です。
10. センサーと感知対象 (人) の間に障害物があると、センサーが動作を感じることがありますので、センサーを遮るものがなく、部屋全体を感知できるようにしてください。

11. 熱を発生するものや、室内に強い空気の流れがある場合、センサーの性能に影響を与えることがあります。
12. センサーの性能は、室内温度と感知対象 (人) の温度差によって異なります。室内が暖かい場合は、人を感知する性能が下がる場合があります。
13. スイッチボックスの推奨奥行きは 64 mm です。
14. 電子スイッチと最も近い専用子機スイッチ間の最大配線長は 76 m です。
15. ファンと電子スイッチ付きの照明を組み合わせるとコントロールする場合、総負荷が汎用ファンの定格を超えないようにし、100V~で使用してください。負荷定格チャートを参照してください。
16. 必ず清潔な湿ったやわらかい布で清掃してください。化学系の洗浄液などは絶対に使用しないでください。
17. 各機器は必ず垂直に取り付けてください。
18. 電子スイッチが破損する恐れがありますので、ブレーカーをオフを確認してから取り付けてください。
19. 屋内使用専用です。

電子スイッチ付センサー

100-200 V~ 50/60 Hz 6 A



照明

100 V~ 50/60 Hz 300 W



ファン

モデル: MS-OPS6-DVJA



030-1584 Rev. A 7/2011

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-20 第16 興和ビル南館 4 階  
ルutron アスカ株式会社

電子スイッチ付センサー

100-200 V~ 50/60 Hz 6 A



照明

100 V~ 50/60 Hz 300 W



ファン

モデル: MS-OPS6-DVJA



030-1584 Rev. A 7/2011

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-20 第16 興和ビル南館 4 階  
ルutron アスカ株式会社

取り付け方法

電子スイッチ付センサー

この電子スイッチ付センサーは、赤外線センサーを搭載しているため、自動的に照明をコントロールすることができます。人感センサーは、特定のエリアを動く人の熱を感知することにより、そのスペースが使用されているかどうかを判断します。そして、センサーは照明のオン・オフを自動的にコントロールして、利便性を向上させ、エネルギーを節約します。

最大負荷については負荷定格チャートをご覧ください。

**1 警告** 感電の危険。ケガや死亡事故につながる恐れがありますので、ユニットを取り付ける前に、ブレーカーをオフにしてください。

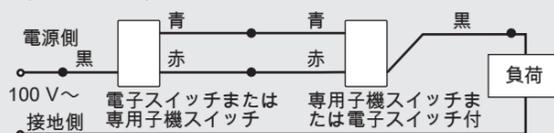
**2 配線** 直径 1.6 mm または 2.0 mm の銅線を使用してください。(より線の場合は、絶縁被覆付の棒形圧着端子を使用してください。)下記の配線図に従い、電子スイッチ付センサーを取り付けます。:

スイッチ配線図 (100V~ および 200V~)



3 路スイッチ配線図 (100V~ のみ)

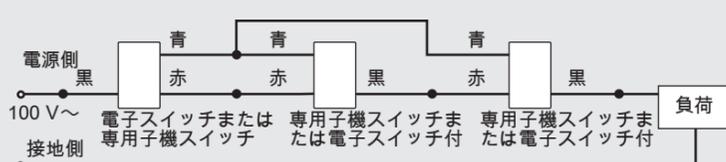
一箇所を電子スイッチに取り替え、もう一箇所を専用子機スイッチに取り替えます。(HD-RS-JA)



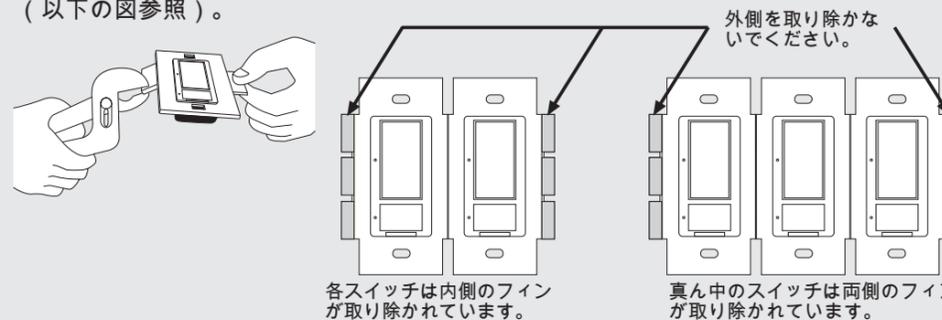
4 路スイッチ配線図 (100V~ のみ)

一箇所を電子スイッチに取り替え、その他の箇所を専用子機スイッチと取り替えます。(HD-RS-JA)

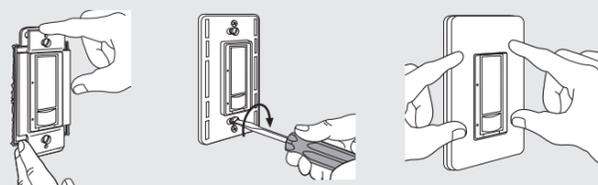
使用できる電子スイッチは1個のみですが、最大9個までの専用子機スイッチを接続することができます。電子スイッチの設置場所は負荷側、電源側、中間 (3箇所以上の場合) に関係なく接続することができます。



**3** 本スイッチは、他のユニットとともに1枚の表面プレートに収めて接続取り付けを行うことができます。その場合、脇の放熱フィンをペンチ等で取り外してください。(以下の図参照)。



**4** 電線を整えながら丁寧にスイッチボックスに戻し、本スイッチを取り付け、ウォールプレートをはめ込みます。



**5** ブレーカーをオンにします。

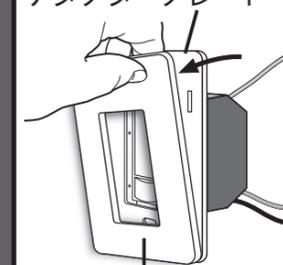
**6** これでユニットの取り付けは完了しました。本品の機能詳細については、プログラミングおよび取り扱いに関する項目をご覧ください。

注: 給電を再開すると、50 秒間程度の較正が行われます。また、電子スイッチへの給電が一旦停止し、再開された場合、FASS™ スイッチをオフからオンに切り換えた場合、毎回較正が行われます。また負荷がオンになっている場合、較正中はセンサーLEDも点灯します。本ユニットは、較正中も手動でオン・オフを切り替えることができますが、自動コントロールは行われません。

裏面のプログラミングおよび取り扱いの項目をご覧ください。

ウォールプレート

アダプタープレート

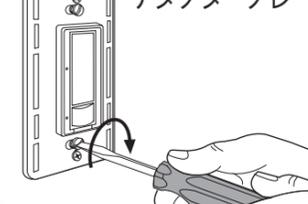


ウォールプレート

製品のウォールプレートは、アダプタープレート (背面) とそこにはめ込むウォールプレート (前面) の2部で構成されています。両プレートを取り外してから、取り付けしてください。

これにより、取り付け作業中にウォールプレートを破損するのを防ぐことができます。

アダプタープレート



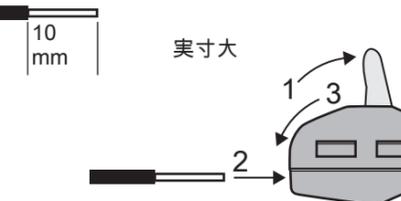
ウォールプレート



配線

直径 1.6 mm または 2.0 mm の銅線を使用してください。

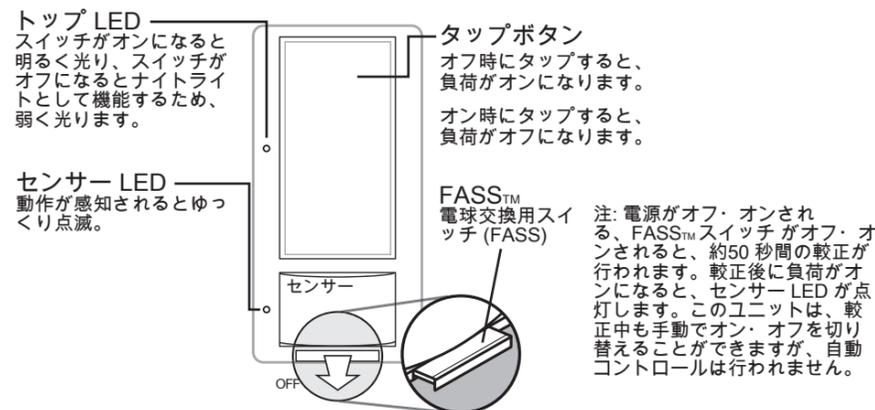
電線の絶縁被覆を 10 mm 剥き、電線が曲がっている場合はまっすぐに直します。



負荷定格

	100V~ 50/60 Hz	200V~ 50/60 Hz
ハロゲンランプ/白熱灯/電子トランス付きローボルト球	600 W	1200 W
電子トランス付きローボルト電磁トランス付きローボルト球	600 VA /450 W	1200 VA /950 W
蛍光灯/LED	6 A	6 A
汎用ファン	300 W	接続不可

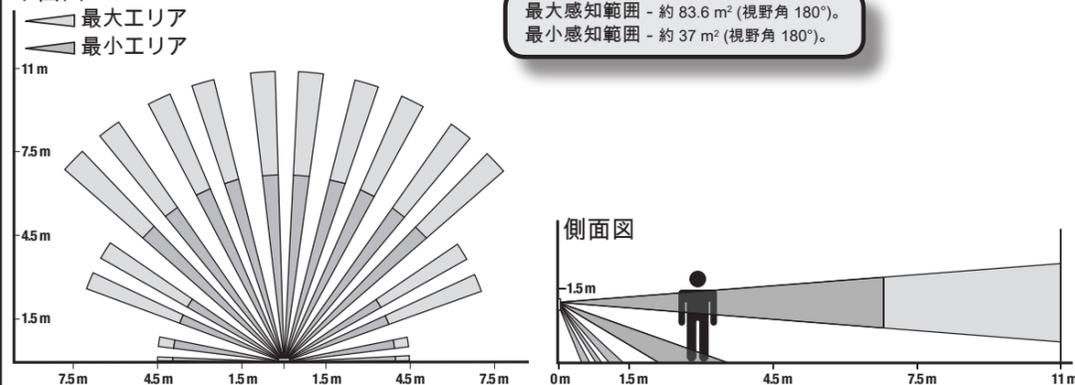
\*トランスの最大許容ワット数はトランスの性能によって決まりますが、一般的にはトランスワット数の70%~85%です。お使いのトランスの性能につきましては、照明器具またはトランスのメーカーにお問い合わせください。トランスのVA (ボルトアンペア) 定格合計が、スイッチのVA 定格を超えないようにしてください。



**重要**

定期的な電球の交換も含め、作業を行う際は、必ずブレーカーをオフにしてください。

**センサーの感知範囲**  
平面図



**プログラミングおよび取り扱い**

室内に入るとセンサーが自動的に照明をオンにし、最後の人が退出すると自動的にオフにします。この自動オン機能はオフにすることもできます。

注: スwitchのタップボタンを押せば、照明はいつでも手動でオフにすることができます。主な機能: 各機能は変更することができます。(プログラミングモードをご覧ください。)

- **自動オン** - この機能がオンになっている場合、最初の動作が感知されると照明が点灯します。初期設定ではこの機能がオンになっています。
- **センサー感度** - センサーの感度は室内で予測される動作に応じて、調整することができます。ほとんどの場合、高感度に設定すると最適に作動します。初期設定では高感度に設定されています。
- **タイムアウト** - 最後の動作が感知されてから、照明がオフになるまでのおよその分数です。タイムアウト時間は、1、5、15、30分のいずれかに設定することができます。初期設定のタイムアウト時間は5分間になっています。
- **周囲光センサー** - この機能をオンにすると、室内に入る外光が設定値を上回る場合は、照明が自動的にオンになりません。最後の人が部屋を退出すると、タイムアウト時間経過後に、自動オン機能が通常作動に戻ります。初期設定ではこの機能はオンになっています。
- **在室時にオフ** - スwitchが手動でオフにされた場合、室内に人がいる間、照明はセンサーにより自動でオンになりません。最後の人が部屋を退出すると、タイムアウト時間経過後に、自動オン機能が通常作動に戻ります。初期設定ではこの機能はオンになっています。

**プログラミングモード**

センサーの機能を変更する

- 1 FASS™スイッチをオフの位置まで引き、3秒間待ちます。(FASS™が簡単に操作できない場合は、フェースプレートを取り外してください。)
- 2 タップボタンを押し続けます。
- 3 タップボタンを押し続けている間に FASS™ をオンの位置に戻します。約5秒後にセンサーLEDが安定して点滅したら、指を離します。
- 4 これでセンサーがプログラミングモードになりました。  
注意: 1分以上操作がない場合、スイッチはプログラミングモードを終了します。

メニュー	自動オン/センサー感度	タイムアウト	周囲光*	在室時にオフ*
トップLED	オフ	点滅	オン	点滅
センサーLED	点滅	オフ	点滅	オン

- 5 上のチャートを参照し、変更する機能に対応するLEDの点滅組み合わせになるまで、タップボタンを押します。
- 6 タップボタンを3秒間押し、機能を選択します。LED点滅の速度が変わります。
- 7 以下、該当する項目に進み、プログラミングを完了します。注: 設定は一旦変更されると、自動的に保存されます。
- 8 プログラミングモードを終了するには、FASS™をオフの位置まで引いて3秒間待ち、再度FASS™をオンの位置まで押して戻します。  
注: センサーの較正に約50秒かかります。

**保証**

ルutron アスカ株式会社は弊社の判断に基づき、製造欠陥または材料欠陥がある場合は、ご購入から一年以内に限りユニットを交換します。保証サービスをご希望の場合は、〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-20 第16 興和ビル南館4階 ルutron アスカ株式会社まで、ご購入品をお送りいただくか、03-5575-8411 までお問い合わせください。

この保証は唯一の明示的保証であり、商品性の黙示的保証や、日本の民法に基づく黙示的保証(瑕疵担保責任)などの適用は購入後1年間に限ります。この保証は、取り付け、取り外し、再取り付け、または誤使用、悪用、不適切もしくは不適正な修理、さらに誤配線や不適切な取り付けに起因する損傷には適用されません。また、この保証は付随的、結果的、もしくはいかなる特別損害にも適用されません。ユニットの製造、販売、取り付け、配送、使用に起因または関連して発生した損傷に関する、ルutron アスカ株式会社は責任を負いません。いかなる場合もユニットの購入価格を超えないものとします。

Lutron および Maestro は登録商標であり、FASS は Lutron Electronics Co., Inc. の商標です。  
©2011 Lutron Electronics Co., Inc.

**自動オン/感度**

初期設定: オン/高感度

設定	自動オン機能がオン 高感度モード	自動オン機能がオン 低感度モード	自動オン機能がオフ 高感度モード	自動オン機能がオフ 低感度モード
トップLED	2回点滅	2回点滅	オン	オフ
センサーLED	オン	オフ	2回点滅	2回点滅

- 1 上のチャートを参照し、希望の設定に対応するLEDの点滅組み合わせになるまで、タップボタンを押します。
- 2 タップボタンを3秒間押し続けます。LED点滅の速度が変わり、スイッチが自動的にステップ5に戻ります。終了するにはステップ8を行います。

**タイムアウト**

初期設定: 5分間

時間	5分間	15分間	30分間	1分間
トップLED	3回点滅	オン	オフ	3回点滅
センサーLED	オフ	3回点滅	3回点滅	オン

- 1 上のチャートを参照し、希望のタイムアウト時間に対応するLEDの点滅組み合わせになるまで、タップボタンを押します。
- 2 タップボタンを3秒間押し続けます。LED点滅の速度が変わり、スイッチが自動的にステップ5に戻ります。終了するにはステップ8を行います。

**周囲光センサー**

初期設定: オフ

設定	オフ	高* 照明レベル	中* 照明レベル	低* 照明レベル
トップLED	オフ	2回点滅	2回点滅	オン
センサーLED	2回点滅	オン	オフ	2回点滅

\* よくあるご質問のQ3をご覧ください。

- 1 上のチャートを参照し、希望の設定に対応するLEDの点滅組み合わせになるまで、タップボタンを押します。
- 2 タップボタンを3秒間押し続けます。LED点滅の速度が変わり、スイッチが自動的にステップ5に戻ります。終了するにはステップ8を行います。

**在室時にオフ**

初期設定: オン

設定	オン	オフ
トップLED	3回点滅	オフ
センサーLED	オフ	3回点滅

- 1 上のチャートを参照し、希望の設定に対応するLEDの点滅組み合わせになるまで、タップボタンを押します。
- 2 タップボタンを3秒間押し続けます。LED点滅の速度が変わり、スイッチが自動的にステップ5に戻ります。終了するにはステップ8を行います。

在室時にオフモード(オフ):  
タップボタンで負荷をオフにした後は約25秒間、自動オン機能はオフになります。これにより、センサーが動作を感知することなく、在室中の人が退出できる時間を作ります。スイッチはいつでも手動でオフにすることができます。25秒経過すると、自動オン機能は通常作動に戻ります。

**よくあるご質問**

- Q1: 人感センサーを使用しています。在室中は部屋の照明をオフにしておきたいのですが、在室中だけ一時的に、自動でオンにならないようにするにはどうしたらいいですか?  
A: タップボタンを押し、スイッチを手動でオフにします。「在室時にオフ」の設定がオンになっている場合は、センサーがその部屋で動作を検出している間、照明はオフになります。注: 「在室時にオフ」の設定がオンになっている場合、自動オン機能は、センサーのタイムアウト時間経過後に再び作動します。また、この自動オン機能もオフにすることができます。(「プログラミングおよび取り扱い」をご覧ください)
- Q2: タップボタンで照明を消した後に、照明が再びオンにならないのはどうしてですか?  
A: タップボタンを使用して、照明を手動でオフにした後は、部屋から最後の人が退出し、センサーのタイムアウト時間が経過するまで、照明は自動的にオンにはなりません。この「在室時にオフ」機能はオフにすることができ、その場合は、手動で照明をオフにした後25秒経過するとセンサーが自動オン機能を再び作動させます。(「プログラミングモード」をご覧ください。)
- Q3: 部屋がすでに十分明るいので、自動的に照明がオンにならないようにしたいときは、どうすればいいですか?  
A: 外光センサーの設定をオンにすると、周囲の明るさに応じて、照明が自動的にオンになるのを防ぐことができます。3通りの設定がありますので、下記をご覧ください。

- 高レベル外光オン: 強い外光がある場合は、自動でオンになるのを防ぎます。
- 中レベル外光オン: 中程度の外光がある場合は、自動でオンになるのを防ぎます。
- 低レベル外光オン: 弱くても外光がある場合は、自動でオンになるのを防ぎます。

トラブル	原因
照明やLEDが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FASS™が引かれオフの状態になっている。</li> <li>• 電球が切れている。</li> <li>• ブレーカーがオフになっているかトリップしている。</li> <li>• 誤配線がある。</li> </ul>
センサーが動作や外光に反応せず、在室時にオンにならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• センサーが較正モードになっている。</li> <li>• 自動オン機能がオフになっている。</li> <li>• 照明が手動でオフになっているが、まだタイムアウト時間になっていない(「在室時にオフ」をご覧ください)。</li> <li>• センサーが障害物で遮られている。</li> <li>• 周囲光センサーがオンで作動している。</li> </ul>
在室時に照明がオフになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タイムアウト時間の設定が短すぎる。</li> <li>• センサーが障害物で遮られている。</li> <li>• 感度が低すぎる。</li> </ul>
部屋から出て照明が消えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タイムアウト時間の設定が長すぎる。</li> <li>• 感度が高すぎる。</li> </ul>